

## NEWS 絆

## 東北生産性本部

## 「中国の発展と日本経済への可能性」

## 2025年度 仙台シンポジウム 8月例会開催

2025年度 仙台シンポジウム8月例会は、株式会社 三菱総合研究所

代表取締役副社長 平井 康光 氏 を講師にお迎えし、約50名の参加を得て開催いたしました

## ■例会（2025年8月22日開催）

## 講師：

株式会社 三菱総合研究所 代表取締役副社長 平井 康光 氏

## （プロフィールなど）

1984年4月に三菱商事株式会社入社。2012年4月から三菱商事(上海)有限公司社長、2017年7月から三菱商事(中国)有限公司社長等の要職を歴任。上海の日本商品センターが運営停止の危機に直面した際には、全面的に引き継いで、日本のベンチャー企業と上海消費市場の懸け橋の役割を果たしてきた。2014年に「上海市白玉蘭記念奨励賞」を、2017年に「上海市白玉蘭荣誉奨励賞」を受賞し、2020年に上海市長から外国人に与えられる最高の荣誉である「上海市荣誉市民」の称号と表彰状、メダルを受け取り、上海市で45番目の荣誉市民となり、その後も中日間の貿易・経済事業を積極的に推進。コロナ禍では、上海の防疫活動にも支援し、中国の最も正確な情報を発信し続けた。2021年には、コーポレート担当役員（地域戦略）、チーフ・コンプライアンス・オフィサー、緊急危機対策本部長を歴任し、2023年12月より現職に至る。

今年4月のNHKニュース『おはよう日本』をはじめ、5月の深層ニュース(BS日テレ)では、米中関税交渉の背景について、中国経済に詳しいゲストコメンテーターとしてメディア出演するなど、多方面で活躍している。

## 【ご講演要旨】

## 「中国の発展と日本経済への可能性」

中国の国家安全部で大臣を務める陳氏の武漢市時代のエピソードや、中国の共産党幹部には、企画力や行動力が優れていて、実績をあげた人が出世を遂げていることに触れ、中国で物事を動かそうとすれば、実行力がある人が揃っており、大抵のことは成し遂げるということを確認しておく必要がある。



メディアを見ていると、一つの方向からの中国しか見ていないため、色々な情報ソースを使って中国という認識をつくり上げて行かないと、日本との付き合い方も見えて来ないし、ビジネス展開する上で、まともなリスクマネジメントが出来ないことになりかねない。

2000年に出版された「2020年の中国」を予想した予測本を購入してからずっと持っていて、実際に2020年がどうなったのかを見比べした。

結果はGDPの世界順位も国内自動車販売台数も、予想を上回っており、ことごとく外れていた。相当な専門家、中国に精通した人が知恵を絞っても、中国の将来は予想できなかった。



中国の予測が出来ない中、我々が出来ることと言えば、過去からの現有力を勉強することや最新の中国の情報を取らなければいけないということ、もう一つは中国の仕組みを知ることの3つを常に整理しておかないと中国を見る事が出来ない。

講演では、GDPやマーケティング戦略、不動産事情やデベロッパーの好景気から現状などに触れ、今では儉約が美德とされている。

また、中国とASEAN諸国との関わりやデジタルシルクロード構想、温室効果ガス削減に向けての取り組みから李克強首相とのエピソードなど、日本では、知られていない情報を含め、多方面にわたって講演いただきました。

**以上、大変貴重なお話をいただきありがとうございました。**